

コンコンとドアを

ノックして欲しいと願ひ

仲間と体験談をつづりました



## 私が自助グループに繋がるまで

ルミ

我が家の依存症者は二二歳の息子。現在、詐欺未遂で逮捕勾留され裁判中の身です。一回目の逮捕は未成年で小遣い欲しさに友人とひったくりをして少年鑑別所に入り、少年審判を経て保護観察付で戻ってきました。成人になっても市販薬や違法購入した処方薬を服用して起こした交通違反や単独での事故、時には薬を組み合わせて服用する事で起こす奇行の数々。このような問題行動の度に、保護司や保護観察官に相談や面談をしてきましたが改善される事は無く、私の悩みが増えていきました。そんな矢先に息子が消費者金融に多額の借金をしている事が発覚し、同時期に違法薬物（覚醒剤と大麻）の使用も知ることになりました。私は、この状況を見過ごす事は出来ないと思い、本人と話し合いをし、納得をした形で交番へ自首をして逮捕となりました。これが二回目です。（ちなみに執行猶予付きで再び戻ってきました）

逮捕後、約四ヶ月程勾留されていたのですが、その間に保護観察所から「関西薬物依存症家族の会」主催の相談会を教えてくださいました。息子の更生を願い、親として精一杯援助してきたつもりですが、二度目の逮捕。しかも違法薬物の使用と所持で八方塞がりだった私は、家族の会のチラシに記載されている電話番号に電話をし、メールを送りました。電話は繋がりませんでした。メールの返信が数分で来て驚いたと同時にホッとしたのを覚えています。

そして相談会当日、初めての参加に緊張感いっぱい部屋に入っていくと家族会の方がた

くさんおられました。とても固い表情の私と正反対の和やかでにこやかな表情をされていたのが印象的でした。ここに参加すれば何かいい手立てを教えてくださいませんかと感じました。初参加の私をウエルカムな対応で迎えてもらえたのも驚きでした。話の中で「薬物依存の家族は、こんなにたくさんいてるし、ひとりじゃないよ」「よく来たね：、ここに繋がれば、もう大丈夫」「いつでも話せる仲間が、ここにはいてるからね」と声をかけてもらい安心したと同時にうれしさでいっぱいになりました。「この仲間に入りたい、依存症について知りたい」と思い、初対面で※フェローシップに参加し、「こんな人初めて！」と言われたのは、笑い話ですが：。

あの時、勇気を出して家族の会に連絡して本当に良かったと心から思っています。現在、三回目の逮捕で実刑になる確率の高い息子ですが、今、私は家族会の仲間がいてくれるので心強く過ごす事ができています。私のように薬物依存症の家族がいて、悩まれたり、苦しんでおられる方が、少しでも早く「関西薬物依存症家族の会」の存在を知り、繋がる事が出来ますようお願いしています。

## 用語の説明

### ハイヤーパワー

自分自身を超えた、自分よりも偉大だと認められる「力」。  
薬物依存に無力であるからこそ、自分を超えた大きな力に自分をゆだねている。  
その力についてどう解釈するかはまったく各人に自由に任されている。

### スポンサー／スポンサーシップ

回復の十二ステッププログラムを実践するにあたり、メンバーはより経験のあるメンバーに相談し、助言や提案を示してもらう。その助言者をスポンサー、その関わりをスポンサーシップと呼んでいる。

### 回復の十二ステッププログラム

回復のプログラムとして提案されている十二のステップは、スピリチュアル（霊的）な特徴を持つ生きかたの原理。

### フェローシップ

本来は仲間の集合体を指すが、ミーティングを離れた仲間同士の交流の意味で使われることが多い。